東奥日報2026年10月23日(金)付掲載

コーヒー箱詰め 丁寧に

青い海と森の音楽祭
10/31−11/8

31日に開幕する「青い海と森の音楽祭」（東奥日報社などでつくる実行委員会主催）で販売する公式グッズ「オリジナルドリップコーヒー」の箱詰めが22日、弘前市の弘前第一養護学校（石戸谷恒鋭校長）高等部で行われた。ワークキャリアコースの２、３年生計７人が丁寧に作業を進めた。

同校は昨年、アウトリーチ（出前演奏会）の開催校として参加し、ドリップコーヒーの箱詰めにも携わった。今年も音楽祭を一緒に盛り上げようと協力した。



コーヒーパックを丁寧に箱に詰める生徒たち

生徒たちは、作業の説明を受けた後、バーコードシールの貼り付けや箱の組み立て、コーヒーパックの箱詰めを手際よくこなしていった。約１時間かけ、１箱に５袋が入った100箱を完成させた。

作業に当たった同校２年の外川雄大さん(16)は「早く丁寧に仕上げるように頑張った」と充実した表情。購入者に向けて「毎日、大事に飲んでほしい」と呼びかけた。

コーヒーは、音楽祭の有料公演で開設するグッズショップで販売する。　（下山静香）

【連載「つなぐ私たちの祭典　２年目を支える」28面】

無断での複製・転載・生成AI利用を禁じます